

日本古来の知恵で涼感を味わう  
が、「昭和の町打ち水大作戦2014」  
豊後高田市でありました。



### ① 「打ち水」とは何でしょう。

### 浴衣姿で“熱冷まし” 豊後高田市

日本古来の知恵で涼感を味わう「昭和の町打ち水大作戦2014」が26日夕方、豊後高田市の玉津プラチナ通りであった。子どもから大人まで多くの市民が集まつた。夏の暑さを和らげる打ち水の効果を体感しようと、市が2005年から毎年、実施している。参加者は風呂の残り湯などを持参。花火の合図で、浴衣姿の女性らが日中の日差しで熱くなつたアスファルトの上に水をまいた。子どもたちは水を掛け合うなどして、はしゃいでいた。市によると、開始前に37度だった周辺の気温は34度に下がっていたという。

アスファルトに水をまく浴衣姿の女性たち=26日夕、豊後高田市の玉津プラチナ通り

### ② 打ち水をすると、なぜ涼しくなるのでしょうか。

### ③ ほかに、涼しく感じるための日本古来からの知恵を調べてみよう。

(2014年7月27日朝刊1面)